議会のおしらせ

たがわ

令和４年12月１日　No.218
発行：田川市議会　　編集：田川市議会広報委員会

新中学校の校舎棟外観です

令和５年４月に開校する田川市立田川東中学校と田川西中学校の校舎棟の内外装工事がほぼ完了しました。残るは校舎棟周りの工事等で、新中学校２校の完成に期待が膨らみます。

9月定例会を開催 33日間で27議案を審議

田川市議会

■問い合わせ：田川市議会事務局 ／〒825-8501 福岡県田川市中央町1番1号／ TEL0947(85)7170 ／ FAX0947(44)2043

９月定例会　議決結果

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
	市長提出議案		
40	令和４年度田川市一般会計補正予算 詳しくは４ページ	総文・厚生・建経	原案可決
41	令和４年度田川市国民健康保険特別会計補正予算	厚生	原案可決
42	令和４年度田川市後期高齢者医療特別会計補正予算	厚生	原案可決
43	田川市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	総文	原案可決
44	田川市保育所設置条例の一部改正について 詳しくは６ページ	厚生	原案可決
45	田川市印鑑条例の一部改正について	厚生	原案可決
46	田川市立中学校設置条例の一部改正について	総文	原案可決
47	田川市固定資産評価審査委員会委員の選任について（重松安男氏）	－	同意
48	田川市教育委員会委員の任命について（加治誠子氏）	－	同意
49	令和４年度田川市一般会計補正予算 詳しくは４ページ	総文	原案可決
50	令和４年度田川市一般会計補正予算	厚生	原案可決
	諮問		
1	人権擁護委員候補者の推薦について（廣川郁子氏）	－	同意
2	人権擁護委員候補者の推薦について（佐々木さゆり氏）	－	同意
3	人権擁護委員候補者の推薦について（原田清高氏）	－	同意
4	人権擁護委員候補者の推薦について（牧野瑞代氏）	－	同意
	報告		
5	市長専決処分の報告並びに承認を求めることについて［専決第６号　令和４年度田川市一般会計補正予算］	－	承認
6	市長専決処分の報告並びに承認を求めることについて［専決第７号　令和４年度田川市一般会計補正予算］	－	承認
	認定		
1	令和３年度田川市一般会計決算 詳しくは５ページ	総文・厚生・建経	不認定
2	令和３年度田川市国民健康保険特別会計決算	厚生	認定
3	令和３年度田川市後期高齢者医療特別会計決算	厚生	認定
4	令和３年度田川市急患医療特別会計決算	厚生	認定
5	令和３年度田川市住宅新築資金等貸付特別会計決算	厚生	認定
6	令和３年度田川市等三線沿線地域交通体系整備事業基金特別会計決算	建経	認定
7	令和３年度田川市病院事業会計決算	厚生	認定
	委員会提出議案		
7	田川市議会委員会条例の一部改正について	－	原案可決
	議員提出議案		
25	地方財政の充実・強化に関する意見書について 詳しくは６ページ	－	原案可決
26	インボイス制度の実施中止を求める意見書について	－	原案可決

［委員会の名称］　総文：総務文教委員会、厚生：厚生委員会、建経：建設経済委員会

賛否が分かれた案件

○：賛成　×：反対

会派名	令和		社民党		孔志会		公明改革クラブ			共産党		清風会			新風会		緑友	清友会		賛成	反対
議員名 / 案件	北山	髙瀬	香月	石松	陸田	白石	吉岡	加藤	佐々木	佐藤	柿田	尾﨑	梅林	松岡	原田	村上	梶原	今村	田守		
【議案第40号】令和４年度田川市一般会計補正予算	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	○	13	6
【議案第44号】田川市保育所設置条例の一部改正について	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	○	13	6
【議案第46号】田川市立中学校設置条例の一部改正について	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	○	13	6
【議案第49号】令和４年度田川市一般会計補正予算	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	○	13	6
【認定第1号】令和３年度田川市一般会計決算	×	×	×	×	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	9	10
【認定第2号】令和３年度田川市国民健康保険特別会計決算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	16	3
【認定第3号】令和３年度田川市後期高齢者医療特別会計決算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	16	3
【議員提出議案第26号】インボイス制度の実施中止を求める意見書について	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	10	9

※上記以外の案件は、全会一致で可決されました。小林議員（緑友会）は議長であるため、採決に加わっていません。
※会派名：令和＝令和クラブ、社民党＝社民党市議会議員団、共産党＝日本共産党市会議員団、緑友＝緑友会

議会日誌

- 8月19日 議会運営委員会
- 8月24日 一般廃棄物処理業務委託の調査特別委員会
- 9月5日 議会運営委員会
- 9月5日 **本会議 9月定例会（開会）**
- 9月8日 各会派代表者会議
- 9月8日 **本会議（一般質問）**
- 9月9日 議会運営委員会
- 9月13日 総務文教委員会
- 9月14日 厚生委員会
- 9月15日 建設経済委員会
- 9月22日 各会派代表者会議
- 9月26日 議会運営委員会
- 9月28日 **本会議（一般質問）**
- 9月29日 議会運営委員会
- 9月30日 厚生委員会
- 10月7日 建設経済委員会
- 10月13日 総務文教委員会
- 10月14日 各会派代表者会議
- 10月15日 議会運営委員会
- 10月22日 **本会議**
- 10月26日 **9月定例会（閉会）**
- 11月4日 一般廃棄物処理業務委託の調査特別委員会
- 11月8日 議会運営委員会
- 11月8日 広報委員会
- 11月9日 総務文教委員会
- 11月10日 建設経済委員会
- 11月11日 厚生委員会
- 11月14日 一般廃棄物処理業務委託の調査特別委員会
- 11月14日 広報委員会
- 11月17日 議会運営委員会
- 11月17日 広報委員会
- 12月2日 **本会議**
- 12月6日 **本会議（一般質問）**
- 12月7日 **本会議（一般質問）**

12月定例会は、12月2日(金)開会　※いずれも10時開始予定です。
一般質問は、12月6日(火)・7日(水)の予定です。

◎新型コロナ感染症対策のため、本会議・委員会の傍聴は、自粛をお願いしています。
インターネット中継や録画映像の配信をご利用ください。

議会日程　中　継

令和４年度一般会計補正予算　各委員会の主な審査内容

９月補正予算（議案第40号、第49号、第50号）では、新たに予算措置が必要となった事業費等が計上されました。歳入歳出とも**６億1,267万６千円**を増額し、予算総額は**327億9,956万４千円**となっています。各委員会における審査と本会議における審議の一部を紹介します。

【議案第40号】

厚生委員会

所属議員：佐藤、白石、今村、香月、尾﨑、北山、加藤

委員会の映像➡

ここに注目

北保育所運営事業費　1,412万４千円減額

保育所運営委託事業費　4,464万７千円

令和４年10月から北保育所を民営化することに伴い、民間保育所への委託料を計上するとともに、市の運営事業費で不用となる人件費や維持管理経費を減額するもの。

質　疑

北保育所の民営化によって、財政効果はどの程度あるのか。

答　弁

令和２年度決算ベースの試算で、年間１千万円強の効果が見込まれる。また、老朽化した施設建替は移管先法人が行うため、その費用の削減効果も見込まれる。

建設経済委員会

所属議員：陸田、田守、吉岡、石松、松岡、髙瀬

委員会の映像➡

ここに注目

公共交通網形成事業費　1,528万円

原油価格の高騰により公共交通事業者の運行経費が急激に上昇したため、市内の公共交通事業者に対して、燃料価格高騰相当分を支援するもの。

この事業は、平成筑豊鉄道株式会社、コミュニティバス運行事業者、タクシー運行事業者を対象に、令和３年度と令和４年度の燃料使用量に、各年度と令和２年度の平均燃料価格の差額をそれぞれ乗じた額を支援します。

【議案第49号】

総務文教委員会

所属議員：村上、梶原、小林、柿田、原田、佐々木、梅林

委員会の映像➡

ここに注目

（債務負担行為）スクールバス運行委託料　2億6,500万円増額（総額４億8,300万円）

令和５年４月開校予定の田川東中学校と田川西中学校におけるスクールバスについて、令和５年度から令和７年度までの運行業務の委託契約に向け、その債務の負担を設定するもの。生徒の安全面等を考慮して小型バスに変更し、債務負担行為限度額の増額が追加提案された。

▲総務文教委員会による運行ルート等視察

※議案第49号については、本会議で次の討論がありました。

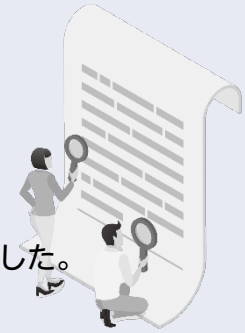
［反対］
○十分な保護者説明が行われていない。
○安心・安全面が十分に議論されておらず、賛成できない。

［賛成］
○追加前の委員会審議における意見が反映されている。
○保護者等からの意見・要望にも柔軟に対応するとのこと。開校に向けた教育環境整備の一環として賛成する。

採決の結果、賛成多数で可決となりました。

議員ごとの賛否は、３ページをご覧ください。

令和３年度　決算審査



９月定例会では、令和３年度予算が適切に執行されたのか、常任委員会で審査しました。
このうち、一般会計決算額は、**歳入355億229万８千円**、**歳出343億9,275万７千円**でした。
各委員会で出された議員からの質疑、意見の一部を紹介します。

総務文教委員会

質疑　体育館の２階にある放課後児童クラブは、環境を改善すべきでは？

答弁　児童１人当たりの広さは確保できているが、手狭なクラブもあるため、空き教室の活用なども検討しながら質の向上に取り組みたい。

厚生委員会

要望　生活保護費の不正受給対策は？不正には厳しく対処してほしい。

答弁　受給者が届け出る収入を、税務課で把握している資料で確認する調査を毎年行っている。この調査で、未届の収入が判明している。

建設経済委員会

質疑　鳥獣被害対策で、鳥獣捕獲頭数と職員の出動回数が増えた要因は？

答弁　令和２年度の制度改正で、一年中捕獲できるようになった。
また、令和３年度から捕獲対象にアライグマとアナグマを追加した。

本会議

討論

○マイナンバーカードの普及率を上げるためにカード所有者を優遇する事業が実施されており、公平性に欠ける。

○新中学校建設が、保護者の十分な理解を得ないまま進んでいる。

○市民課窓口が民間委託されたが、業務が非効率となり、情報漏えいや偽装請負が起きるおそれがある。

○ごみ処理業務の民間委託に当たって、令和３年度に行われた事業者の選定や契約に疑問がある。

○ごみ処理業務の委託は、令和３年度の決算とは直接関係なく、決算の認定に反対する理由にならない。

○予算に基づいて適正に事務が執行されており、認定することに問題はない。

採　決

令和３年度一般会計決算は賛成少数で **不認定** となりました。　※その他の決算は、全て認定

決算のくわしい内容➡

本会議の映像➡

議員ごとの賛否は、３ページをご覧ください。

市長提出議案 第44号 厚生委員会

田川市保育所設置条例の一部改正について

POINT 令和４年10月１日から田川市北保育所を民営化することに伴い、田川市保育所設置条例の田川市北保育所に関する規定を削除するため、所要の改正を行うもの。

本会議

討論

○運営事業者選定に当たり、公募期間が２か月と短く、十分な競争性が担保されたとは考えられない。

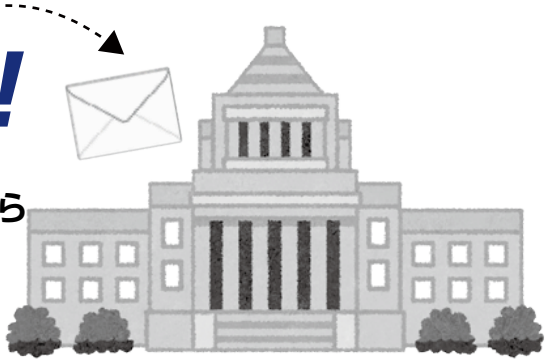
○北保育所の民営化は、コスト削減という経済性、効率性のみを追求している。また、委員会審査に当たり提出を求めた運営事業者選定に係る資料等について、提出できないとした理由に合理性がない。

○民営化へ移行するに当たっては、執行部から十分な説明がなされ、事務事業が進められてきた。運営事業者が決定されており、今回の条例改正は民営化に移行するに当たっての条例の文言整理に過ぎない。

採　決

賛成多数で 可 決 となりました。 議員ごとの賛否は、３ページをご覧ください。

市議会の声を国へ！



９月定例会で、次の議案２件が可決され、田川市議会から国に対する意見書を提出しました。

【議員提出議案第25号】（提出者：髙瀬［北山、香月、陸田、吉岡、佐藤、尾﨑、原田、梶原、今村］

地方財政の充実･強化に関する意見書について　可決

2023年度の政府予算と地方財政の検討に当たり、コロナ禍への対応を勘案して地方財政の確立を目指すよう国に対し意見書を提出するもの。

【議員提出議案第26号】（提出者：佐藤［柿田、原田、村上、梶原、石松、香月、北山、白石、髙瀬］

インボイス制度の実施中止を求める意見書について　可決

中小企業・小規模事業者の事業存続と再生、更には日本経済振興のため、2023年10月から開始予定であるインボイス制度の実施を中止するよう国に対し意見書を提出するもの。

一般質問

公明改革クラブ

加藤（かとう） 秀彦（ひでひこ） 議員

▼代表質問

録画映像

本市の環境施策について

問 糯地区に木質バイオマス発電所が建設中である。この稼働等に対して本市は、どのような環境配慮を求めることが想定されるのか。

答 第2次田川市環境基本計画において、配慮すべき事項を定めており、悪臭が発生した場合の調査及び防止策、建設時の騒音及び振動に配慮することが想定される。

問 この発電所は2023年春の運転開始予定である。事業者と市の協定書には、「万一、苦情が発生した場合は、誠意をもって速やかに解決に努める」とある。公害の苦情があった場合、特に排ガス及びダイオキシンについては測定を行い、その数値も公表すべきと考えるが、見解を問う。また、近隣住民を対象とした施設見学の計画があるのか問う。

答 大気汚染防止法によって、ダイオキシンは年に1回、排ガスは年2回の測定が定められているため、事業者は定期的な測定を行う。測定結果をホームページで公表することについて検討中と聞いている。また、施設完成後、近隣の方に対して見学会を実施することを検討中とのこと。

問 夏吉地区で起こっているコークス粉じん被害の概要を問う。

答 平成31年以降、夏吉地区の住民の方々から「コークスの事業所から舞い上がったと思われる粉じんが家屋や自動車に付着しているのではないか」という苦情や相談がある。監督官庁の福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所と連携して、住民からの聞き取り調査や現地確認を行い、事業者を交えた協議を行っている。

問 地域の方から、粉じん対策のため、一年中雨戸を閉め切っている、または洗濯物を屋外に干せないといった声を聞く。これらの被害に対する今後の市の対応を問う。

答 粉じんについての監督官庁は福岡県であるため、連携して指導を行う必要があると考える。また、事業者は、苦情や要望について対策を講じるなどの改善をしている。今後も地域住民や関係機関と連携し、指導、助言を行いたい。

問 バイオマス発電所及びコークス粉じん被害について、市長の見解を問う。

答 バイオマス発電所については、地域の理解を得られる施設となることが必要。事業者に取組を進めてほしい。コークス粉じん被害については、地域の方が大変迷惑していることから、県と連携し、指導に当たらなければならないと考える。

緑友会

梶原（かじわら） みつ子（こ） 議員

▼代表質問

録画映像

本市の公衆トイレ等について

問 公衆トイレや公園などの施設にあるトイレは、誰でも利用できるように整備しておく必要があるが、市内の多くの公衆トイレは老朽化している。今後の改修予定を問う。

答 利用者が少ないトイレは、地域住民と調整しながら廃止に向けた検討を行うことを考えている。日の出町駐車場のトイレは、照明が暗いと聞いているため、照明の改修を検討している。また、都市公園内のトイレは、計画的に更新を行っている。今年度は陸上競技場管理棟横のトイレの改修を計画しており、和式便器の汲み取り式トイレを洋式便器の水洗トイレに変更する予定である。ただし、温水洗浄便座については、盗難や破損などのおそれがあることから、今のところ設置の予定はない。

問 特に改善の要望が多い日の出町駐車場のトイレは和式で暗く、設備も傷んでおり、衛生及び防犯の観点から、子どもや高齢者は利用しにくい。公衆トイレとしての目的を果たすため、早急に改修すべきと思うが、市長の見解を問う。

答 公衆トイレの整備は、市民だけでなく本市を訪れる方々にとっても重要である。調査しながら、随時改修に向けて検討したい。

北保育所の民営化について

問 北保育所の民営化に当たり、今回の運営事業者が選定されるまでの経緯について問う。

答 選定はプロポーザル（企画提案型公募）方式によって行っており、まず本市のホームページに運営事業者募集要領を掲載し、さらに市内に法人本部を置く全29の社会福祉法人に公募開始の通知を行った。2か月間の公募期間中に2法人から応募があり、書類審査及びプレゼンテーション審査を行って選定した。

問 応募しようとする事業者にとって、2か月という公募期間は適切であったのか、また公募の周知はどのように行ったのか問う。

答 募集要領に沿って事業内容等を記載するものであり、2か月で十分対応できたと考える。また、公募に関しては、既存の保育園の園長会にも十分に情報提供を行った。

問 民営化により、北保育所がどのように発展することを望んでいるか、市長の見解を問う。

答 地域の方々が期待している保育所であるため、地域に愛され、より良い保育の場となり、特色ある保育ができればと考えている。

社民党市議会議員団

石松 和幸（いしまつ かずゆき） 議員

▼代表質問

録画映像

放課後児童対策事業について

問 本市の放課後児童クラブは、令和2年度から業務が民間委託されているが、保護者や業務に携わる支援員から、支援員の増員を求める声がある。支援員の配置基準と実際の配置人数及び登録児童数を問う。

答 国の基準では、児童40人につき支援員2人以上とされている。本年8月時点の登録児童数は799人、支援員は35人で、クラブごとの利用者数に応じて配置している。

問 包括業務委託のメリットと、支援員への職員研修について問う。

答 受託業者に所属したことによる支援員の安定雇用、民間企業の経験やノウハウによる指導技術の向上、効率的な人員配置、教育委員会の事務削減などが挙げられる。

研修については、今年度はアレルギーに関する研修、障がい児研修を実施済みと報告を受けている。

問 児童クラブは利用施設が狭く、過密状態を心配する声がある。児童クラブにおける新型コロナ対策について問う。

答 学校の感染予防対策に準じて、マスク着用、手洗い、換気、共用部分の消毒などを実施し、安全・安心な運営に努めている。

問 小学校の体育館2階にある児童クラブは、非常口の確保ができていないと感じている。児童クラブにおける非常時の対応を問う。

答 避難訓練や防犯教室などの研修を実施している。

医療的ケア児支援について

問 日常的にたんの吸引などが必要な医療的ケア児について、市内の保育所及び小中学校における実態を問う。

答 現在、該当すると思われる児童は保育所に4人、小学校に2人在籍している。

問 保育所又は小学校において、ケア児に対する看護師が適切に配置されているのか問う。

答 民間保育所は17園のうち6園に、公立保育所は3園全てに配置され、小学校は対象児童1人に看護師が1人ずつ配置されている。

問 医療的ケア運営協議会の設置や学校ごとの個別の支援計画策定について問う。

答 対象児童の入学時に、関係機関が十分に協議調整を行ってスムーズに受入れができたことから、協議会等の設置は検討していない。今後、対象児童の進学に備え、情報を共有できる体制を作っていきたい。

孔志会

陸田 孝則（りくた たかのり） 議員

▼代表質問

録画映像

アウトリーチの取組について

問 精神障がいによる問題を抱えている方等に対し、自治体から積極的に支援を行うアウトリーチが様々な分野で導入されている。平成23年度には国において精神障害者アウトリーチ推進事業が展開されている。精神障がいのある方へのアウトリーチの課題と改善策について問う。

答 国は「精神障がいにも対応する包括的なシステムの構築」を地域単位で目指すとの基本理念を示し、必要な諸制度を整備するとしている。本市では、その動向を注視している。

問 10代の引きこもりは、家庭内の複合的要因もあり、家族全体を視野に入れた支援が必要。関係機関と連携して課題を整理し、効果的・効率的な事業の進め方を検討する必要がある。具体策について問う。

答 市の関係部署や関係機関で構成する要保護児童対策地域協議会を適宜開催し、各分野の視点で対象者やその関係者に必要な支援を協議し、適切な支援に努めている。

問 高齢化の進行や貧富の差などに伴い、得られる情報に格差が生じている。図書館のアウトリーチとして、移動図書館だけでなく、機能としての「図書館を届ける活動」を実施すべきである。見解を問う。

答 入院している方など、図書館利用に支障のある市民に対して、有効な手段であると認識している。市立図書館の指定管理者が調査研究を行い、自主事業で取り組むための検討をすることになると考える。

問 他自治体では、病院で入院患者に図書の貸出しや予約サービスを実施し、大変好評である。本市も挑戦すべきである。見解を問う。

答 市立病院では、「くつろぎ文庫」という図書コーナーに約250冊の図書を置いている。しかし、アウトリーチができれば、図書の量と質の更なる充実が図られることから、利用者のニーズ把握を行ったうえで、指定管理者と協議したい。

問 80代の親が50代の子どもの生活を支えるという「8050問題」が発生している。誰もが孤立することなく共に暮らせる社会を実現するため、社会復帰を目指す方に対する行政の包括的な支援が必要と考える。本市の対策について問う。

答 福祉の支援を必要とする方々を取り巻く状況や問題が複雑化・複合化する中で、対象者の属性、世代、相談内容によって適切に対応しながら、縦割りではなく各部署が連携した支援体制の強化に努めたい。

清風会
松岡 英樹（まつおか ひでき）議員
▼代表質問

録画映像

本市中学生の高等学校入試について

問 本市中学3年生の田川地区内高等学校と田川地区外高等学校の志願率について問う。

答 令和3年度の各中学校生徒の進路状況では、卒業総数400名のうち、県立、私立高等学校を合わせて、田川地区内の高等学校への進学が全体の64％、田川地区外の高等学校への進学が32％となっている。その他は、就職や専門学校、家事手伝い等である。

問 一般入試、推薦入試、専願入試の特徴とその比率について問う。

答 一般入試は、学力試験を受けてその点数と内申点との総合点で合否が決まる。推薦入試は、中学校での内申点と面接、集団討論、作文、小論文の点数を加算して合否が決まる。専願入試は、私立学校を受験する際、合格者が必ず入学することを約束して出願する。令和3年度の各入試の比率は、県立高校は推薦入試で進学した生徒が全体の50％、一般入試が12％。また、私立高校は推薦、専願入試で進学した生徒が30％、一般入試が4％であった。

問 田川地区内の県立高等学校へのスポーツ（運動部）推薦を希望する生徒への対応について問う。

答 スポーツによる部活動の推薦依頼があった場合には、各高等学校の推薦入学者選抜実施要項の出願資格を踏まえた推薦制度の説明を行っている。そして、本人の気持ちや保護者の思いを踏まえて、中学校内の推薦委員会において、部活動での成績や努力等を含めて、志望動機や学力状況、生活態度等から総合的に判断して、推薦の決定を行っている。その後、本人や保護者と十分に協議し、進学先を決定している。

問 スポーツ推薦等に対する各関係機関への要望活動等が必要と考えるが、今後の対応について問う。

答 現在、筑豊地区だけでなく、県内多くの高等学校が定員割れし、福岡県教育委員会を中心に各高等学校が連携して、地域に根差した魅力ある高校づくりに取り組んでいる。本市教育委員会が目指す子供像でもある、生徒一人一人の個性、特性が最大限に生かされ、尊重される高校入試制度や個性、特性を思い切り伸ばせる高校教育の在り方について、今後も県教育委員会と意見交換する機会を捉えて、要望していく。また、本市だけの問題ではなく、田川地区全体の問題として、田川の子どもは田川で育てるという思いで各関係機関に対し要望活動を進めていきたい。

日本共産党市会議員団
佐藤 俊一（さとう しゅんいち）議員
▼代表質問

録画映像

バイオマス発電所等の設置について

問 南国殖産㈱出資の田川バイオマスエネルギー㈱が、糒地区で木質バイオマス発電所の建設工事を進めている。6月以降、業者から設備整備計画が提出されたのか問う。

答 9月9日現在、設備整備計画の申請書は提出されていない。

問 本市と南国殖産㈱が締結した協定書には、「事業者は発電所建設に関して、万一苦情等が発生した場合は、誠意をもって速やかにこの解決に努める」と規定。しかし、本年1月に開催を約束した地元説明会が、未だに開催されず、建設反対運動が活発化している。市の見解を問う。

答 業者には丁寧な地元説明を行うよう求めてきたが、非常に残念。地元の理解が得られるように、説明会を開催するよう求め続けたい。

問 協定書に基づき、市は業者に説明会を開催するよう求めてきたが、実施されない。市はもっと強い姿勢で臨むべきではないか。

答 再度、住民理解が得られるよう丁寧な説明を求めたい。

問 説明会に市職員も参加して、住民の意見等を聞き、事態打開に力を注ぐ必要があるのではないか。

答 オブザーバーとして市職員を説明会に参加させ、双方の意見を聞くよう指示している。

問 本市が説明会の場を設定してもいいのではないか。

答 検討していきたい。

問 市民の生活環境を守るため、環境保全に係る規制を設ける条例を制定することについて見解を問う。

答 バイオマス発電所に限定した規制は考えてない。総合的な判断を踏まえ、課題として検討したい。

住宅マスタープランについて

問 市営住宅家賃や汚水処理施設使用料について、値上げするのか。

答 家賃算定方法について検討予定。改定した場合の現行家賃との差額は未定である。使用料は、近隣市町村と同程度に基本料金を設定すること等を検討している。

問 空き家におけるハトのふん被害対策について問う。

答 廊下、階段、ベランダを定期的に清掃するなど、ふん被害を最小限に抑えるよう努めている。

問 新団地建設では、住民説明会を十分に行い、要望を取り入れる機会を作ってほしい。見解を問う。

答 建設委員会において、間取りなど設計に関する要望が出たときは、必要に応じて反映させたい。

公明改革クラブ

佐々木（ささき） 博（ひろし） 議員

▼個人質問

録画映像

美しい街づくりについて

問 市長は美しい街づくりの一環として、オンリーワンの公園づくりを掲げ、丸山公園の改修を進めてきているが、今後の計画を問う。

答 平成30年度から令和2年度にかけて、花いっぱいの景観づくりを進め、遊具の新設や花見広場の芝生化、駐車場の増設等を実施した。将来的には、公園南側に隣接する水道施設が解体された際に、財源が確保できれば、南側エリアの整備も検討したいと考えている。

問 田川伊田駅の整備について問う。

答 平成26年度から都市再生整備計画事業で田川伊田駅舎を全面改修し、レストランやホテルを開業。田川伊田駅前のロータリーを整備し、バス停やタクシー乗り場を設置した。また、日の出町駐車場付近から石炭記念公園方面へ向かう道路を拡幅し、カラー舗装を施し、田川伊田駅西側には駐輪場を新設した。

問 田川後藤寺駅周辺の開発について問う。

答 後藤寺駅前整備基本計画策定会議が、駅前ロータリーの設置、県道の拡幅、多目的広場の設置などを理想とする基本構想をまとめた。

今年度は着工に至るための3条件に係る調査や関係機関との協議等を進め、現実に即した駅前整備像を示す後藤寺駅前整備基本計画の策定に取り組んでいる。

問 田川東高校跡地の整備について問う。

答 民間事業者の資金と技術力を最大限に活用できる官民連携事業が最善と判断し、活用方針の検討を進めてきた。その結果、市が跡地を民間事業者に貸付け、検討委員会がまとめた報告書に沿って、民間事業者が整備を行う。

新産業の創出について

問 旧猪位金小学校を活用して、いいかねパレットを設置した目的、現在の活用状況を問う。

答 民間のノウハウを最大限に活用するため、運営権制度を導入し音楽や映像といったコンテンツ産業を軸として、地域の拠点、交流の場、にぎわいの場を提供し、新たな産業を創出しようとするものである。

直近の決算では、音楽、映像に関する収益が大きく増加し、施設利用者も増加している。

今後、運営権者のもとで運営されていくが、市の計画と合致するような事業であれば、共同で事業を実施することも考えられる。

社民党市議会議員団

香月（かつき） 隆一（りゅういち） 議員

▼個人質問

録画映像

市長の政治姿勢について

問 4月26日に市議会議員有志が、NPO法人市民オンブズマン福岡の児嶋研二代表幹事を講師に迎え「田川地域広域行政勉強会」を開催した。

このことに対し、7月11日に田川郡東部環境衛生施設組合長、副組合長、組合議会正副議長の連名で、小林義憲議長、村上卓哉議員、香月隆一議員の3名の市議会議員に「田川郡東部環境衛生施設組合が大任町で建設している事業の情報公開や事業費用を批判している」として「謝罪を求める文書」が発出された。田川市郡8名の市町村長が連名で3名の市議会議員に抗議文を発出するという異常なことが起きた。

3名の市議会議員は、7月27日に県庁で記者会見を行い、田川地区で起こっている異常な出来事について説明した上で、謝罪する理由は全くなく、表現の自由や言論の弾圧、市民の知る権利の侵害にあたるとして断固抗議するとの意見を表明した。市長は、「謝罪を求める文書」に押印しているが、3名の市議会議員の言動の何に抗議し、謝罪の強要を行ったのか問う。

答 この問題は、田川郡東部環境衛生施設組合の問題であるので、この田川市議会の場でコメントをするということは差し控える。

問 し尿処理場、ごみ処理場、最終処分場などの建設事業の概算事業費について問う。

答 田川地区における新たなし尿処理場と新ごみ処理場建設計画は、平成24年に香春町、添田町、大任町、赤村の4町村で構成する田川郡東部環境衛生施設組合が、いち早く取りかかっていた。平成27年当時、田川地区内に4つの新ごみ処理場が建設されることで進んでいたが、田川市、川崎町、糸田町、福智町が東部環境衛生施設組合に新し尿処理場及び新ごみ処理場の共同建設及び共同処理を申入れ、東部環境衛生施設組合議会や構成市町村で承認をされて、新たなし尿処理場及びごみ処理場をそれぞれ1つずつ大任町内に建設することとなった。

現時点における概算事業費の総額は、し尿処理場が約90億円、リサイクル施設を合わせたごみ処理場が約220億円、最終処分場が約57億円の総額367億円となっている。これらの事業費は、国の交付金を受けるための予算額であり、交付金の対象外である経費は大任町が委託事業として実施をしている。

日本共産党市会議員団

柿田（かきた） 孝子（たかこ） 議員 ▼個人質問

録画映像

新中学校について

問 来年４月開校の新中学校にプールが設置されない理由を問う。

答 水泳の授業は年間10時間程度であるが、プールの設置により教職員の業務が増えること、設置費用が約２億３千万円となることなどを考慮し、設置しないこととした。

問 水泳の授業の方法を問う。

答 屋内プールがある民間施設の利用を検討している。

問 プールの利用料金及び保護者負担の有無について問う。

答 民間施設によると、バス代を含む１回の利用につき、生徒１人当たり１３００円程度と聞いており、市で負担する方向で考えている。

問 通学路整備の進捗状況を問う。特に、田川西中学校付近の橋の整備は開校時に間に合うのか問う。

答 田川東中は、総延長７７９５メートルのうち、６３２０メートルを令和４年度までに、残りを令和７年度までに整備予定。田川西中は、総延長７７９５メートルのうち、６３２０メートルを令和４年度までに、残りを令和７年度までに整備予定。田川西中付近の橋は、国などと交渉中で、開校には間に合わない。

問 通学に公共交通機関や自転車を使用する際の補助について問う。

答 運賃は、市からの全額補助を検討しているが、自転車購入の補助は行わない方向である。

問 再編後の部活動の方向性と、部活動の地域移行について問う。

答 生徒数の増加による部活動の活発化を期待している。移行については、まず土日の部活動を外部指導員に任せる体制を作りたい。

子ども医療について

問 子ども医療費を高校生まで拡大することについて見解を問う。

答 拡大には毎年約２０００万円の財源が必要だが、本市の財政は厳しいため、引き続き検討したい。

ごみ行政について

問 新ごみ処理施設、最終処分場、し尿処理施設の整備に係る本市の負担額と積算根拠を問う。

答 総額３６７億円のうち、国からの交付金などを除いた額に、田川地区における本市の人口比率40％を掛け、約37億円を見込んでいる。

問 今、答弁があった積算根拠について、その資料を提出してほしいが、どうか。

答 特段資料はなく、根拠としては今の答弁のとおりである。

清友会

今村（いまむら） 寿人（ひさひと） 議員 ▼個人質問

録画映像

市政運営について

問 二場市政２期目の任期も残り半年余りとなった。これまで約７年半、市政のかじ取りをしてきた実績・成果や感想について問う。

答 田川再生をモットーに田川市政を進めてきた。一期目は政策公約として、①美しい街づくり、②新産業創出、③教育改革、④子育て支援を４本柱に据え、二期目は①スマートウェルネスシティ（健幸都市）、②コンパクトシティ・アンド・ネットワーク、③共生社会、④防災体制の強化を新たな公約に加え、政策を推進。市長就任後、すぐに取り掛かったのは、①ごみ・し尿処理の広域化、②中学校給食の実施、③合併浄化槽による汚水処理などの政策の転換である。これらの財源確保のため、国県を訪問し、交付金等を確保してきた。このほか、行政改革、歳入確保、市職員の職場環境の改善等に取り組んできた。全ての公約に着手し、成果を上げることができた。市民や議員の皆さまの御理解・御協力があってのことと感謝している。今後もこれらの取組を更に推進し、市民の福祉向上に努めるべく、最小の費用で最大の効果を出していきたい。

問 国県交付金などの財源を活用し、本市負担を極力抑えてきたと思う。主な事業における総事業費と本市の実質的負担額について問う。

答 新中学校建設を始めとする主な５事業の事業総額約１１１億円のうち、実質的に本市が負担する額は約30億円となっている。

問 過去３か年のふるさと納税の寄附実績について問う。

答 令和３年度のふるさと納税額は約５億５千万円、企業版ふるさと納税は約３千万円。過去３か年で寄附総額は約８億５千万円。

問 令和３年度決算後の財政調整可能な基金額について問う。

答 令和３年度末時点の基金残高に、同年度決算で生じた決算剰余金を加えた額は、約37億７千万円。現市長が就任した平成27年度同時期と比べ、大きく変わってない。

問 多くの事業を実施したにも関わらず、これだけの基金残高を維持していることは、二場市長の政治手腕による成果である。今後も市政のかじ取りをお願いしたい。来年４月に予定されている市長選挙について、二場市長の考えを伺う。

答 これまでの政策を完結させ、まちづくりの方向性をしっかり示すため、来年４月の市長選挙に再度挑戦したいと考えている。

市議会への ご意見を募集します！

令和４年度の議会報告会は、市民のみなさんと対面する形式での開催を検討してきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度も、**対面式の議会報告会を行いません。**

そのため、市民のみなさんとの意見交換に代えて、田川市議会に対する**ご意見を募集**します。

ご意見の送付にあたって

1　ご意見は、**メール、FAX、文書（郵送か意見箱）**でお願いします。**意見箱**は、**市役所１階、市民会館、市立病院**に設置しています。

2　ご意見を記入する様式は特にありません。任意の書式でかまいません。メールの場合は、件名を「市議会への意見」としてください。
※お名前や連絡先は不要です。
※感染症対策のため、**意見箱には筆記具と用紙を設置していません。**あらかじめご用意ください。

3　議員個人に対する質問や要望などには対応できません。

4　**意見募集期間は、12月2日～28日です。**

送付先

〒825-8501　田川市中央町１番１号　田川市議会事務局
メール　gikai@lg.city.tagawa.fukuoka.jp
ＦＡＸ　0947-44-2043

今年度も映像で報告！

市議会の委員会の審査内容などを紹介する映像を公開します。
ぜひご覧ください！

●総務文教委員会
新中学校の開校準備について

●厚生委員会
市立病院の経営状況について

●建設経済委員会
企業誘致に向けた取組について

■公開日
12月２日から

←田川市 令和４年度 議会報告会